

自民・民主  
の改憲派が

## 改憲発議の要件緩和へ動き出す

### 96条改定めざす議員連盟設立へ

改憲を発議する要件を衆参両院の「3分の2」から「過半数」に緩和しようと、自民党・民主党の改憲派議員が「憲法96条改正をめざす議員連盟」の旗揚げへ動き始めました。

自民党は安倍晋三元首相ら、民主党は小沢鋭仁元環境相ら各12議員が発起人・呼びかけ人に名を連ねています。

憲法96条1項 この憲法の改正は、各議院の総議員の3分の2以上の賛成で、国会がこれを発議し、国民に提案してその承認を経なければならない。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。

#### いま、なぜ96条改定か

上記議連の設立趣意書は「発議要件を緩和することにより、国会が柔軟に憲法改正を提案できるようにする」と、設立の目的を述べています。わかりやすく言えば、憲法96条を先行提案することにより、与野党の意見が整わず動き出せない憲法審査会における実質審議を促して、国会に改憲発議をしやすい環境をつくるのがねらいです。

自民党の発起人、下村博文元官房副長官は5月3日の改憲集会で「まず96条(改正)、それから総定数500人の一院制(国会)、そして憲法九条改正、これを果たしていくのが国会の役目だ」と、目的があくまでも九条改憲にあると明言しています。

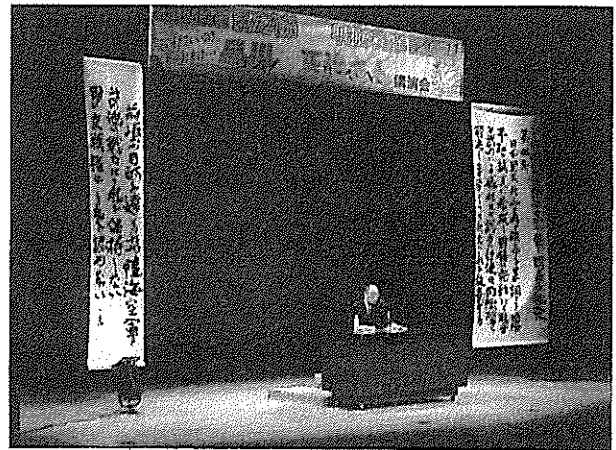
#### 憲法九条 平和のつどい 2011

### 品川正治さんが熱く語る

春日井9条の会発足5周年を記念するつどいが5月29日、東部市民センターホールで開かれました。あいにくの雨天でしたが、400人余りの市民が参加しました。

第1部は、市民朗読劇団のみなさんが愛と平和の詩を群読、客席を感動に包みました。

続いて第2部で、品川正治さん(経済同友会終身



九条を大書した垂れ幕を背に語る品川さん

幹事)が講演。87歳のご高齢とは思えないハリのある声で、自らの戦争体験から話を進め「戦争を始めるのは人間。戦争を止めることができるのも人間です。みなさんの力で九条を守りましょう」と訴えられ、満場の拍手を浴びました。

ロビーで、著書のサインセールが行われました。

#### 5月の署名行動

【カッコは前月】

|       | 行動回数    | 署名数     | 累計署名   |
|-------|---------|---------|--------|
| 高蔵寺駅頭 | 13 (10) | 15 (16) | 7,522  |
| スーパー前 | 4 (0)   | 10 (0)  | 2,232  |
| その他   | 1 (1)   | 21 (5)  | 1,471  |
| 合計    | 18 (11) | 46 (21) | 11,225 |

5月の署名数は、前月の2倍を超えました。増加の主役は、9日に行われた憲法連絡会の共同行動でした。神領駅頭で大学生・高校生に積極的に訴えたところ、20人を上回る署名が寄せられました。一方、高蔵寺駅頭では不振が続き、13回の行動のうち署名ゼロが5回もあり、憲法記念日の月にふさわしくない結果となりました。

署名カンパに代わって行っている東日本大震災救援募金は、5月に2,870円が寄せられ、累計では17,281円となりました。全国革新懇の集計では、400万円に達したとのことです。